

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）

施策名称		総括評価	今後の方向性
1交通安全の推進	A	交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備が一定程度進んでいるといえます。	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。
2防犯対策の充実	B	防犯灯の設置等が進んでおり、刑法犯罪件数の減少も見られることから、安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。
3消費生活の安全確保	B	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。	市民生活の安定及び向上を目指します。
4省エネの推進・新エネルギー導入促進	A	環境に配慮した新庁舎は、太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギーを活用し、消費電力の低減を図っています。 一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから、現状の取組体制には一定の効果が認められます。	省エネルギーの推進では、省エネ・節電についての意識啓発に取り組み、尚一層の推進を図ります。
5上水道の整備	B	水道事業ビジョン、水道事業経営戦略に基づき事業計画を進めています。漏水修理においては、本管（φ75以上）の大きな口径の漏水が増加傾向にあります。しかし、本年度は長期間漏水していたと思われる箇所の修理を行えた為、有収率が2.77%増の78.45%になりました。	漏水箇所の頻繁な配水管、送水管、対応年数が経過している機械、電気設備の更新してまいります。
6循環型社会の構築	B	環境監視員の活動等により、不法投棄の早期発見につながっています。 八郷地区の市指定ごみ袋使用の定着に向けて啓発をしていきます。 1人当たりの年間ごみ排出量については、引き続き排出段階時におけるごみの減量化について、周知方法や取り組みを検討していきます。	ごみ処理施設稼働により、ごみの分別が変更となる為、より一層の分別意識の啓発等を進めていきます。

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）

施策名称		総括評価	今後の方向性
7環境保全の推進	A	<p>河川水質等の分析，公害等の各種調査・分析を行っており，現状の検査結果等で異常値はなく，環境保全の各種取組には一定の効果が認められます。</p> <p>身近なみどり整備推進事業では，計画策定時に早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森林は現状をみながら進めざるを得ない状況です。</p>	<p>水質浄化啓発と共に生活排水を処理できる環境を整える必要があります。荒廃した森林の間伐や県森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。</p>
8協働によるまちづくりの推進	B	<p>石岡市協働のまちづくり条例に基づき，市民の行政参加や協力を継続的に取り組んでおり，一定の成果を上げているといえます。</p>	<p>常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。</p>

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	01交通安全の推進
具体的取り組み例	安全で安心な道路・歩道環境の整備

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備が一定程度進んでいるといえます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。

2 主要事業の概要

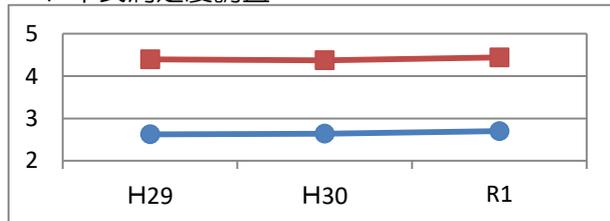
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費【コミュニティ推進課】	更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性や緊急性の高い箇所から効率的に整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	3 (H28)	0	4
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	257 (H28)	210	182

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.62	4.40
平成30年度調査	2.64	4.37
令和元年度調査	2.70	4.44

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	02防犯対策の充実
具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上，街路灯・防犯灯の設置，エンゼルパトロールの実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		防犯灯の設置等が進んでおり，刑法犯罪件数の減少も見られることから，安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

2 主要事業の概要

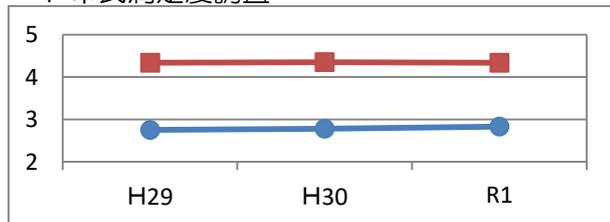
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
安全・安心まちづくり推進事業 【コミュニティ推進課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。
街路灯・防犯灯事業 【コミュニティ推進課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
防犯灯設置及び器具等交換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等交換灯数	灯	718 (H28)	750	610
エンゼルパトロール登録者数	登録者数	人	897 (H28)	1,060	739
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	726 (H28)	650	553

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.75	4.34
平成30年度調査	2.78	4.35
令和元年度調査	2.83	4.34

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	03消費生活の安全確保
具体的取り組み例	消費生活センターの設置，消費生活に関する苦情・相談の受付対応

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り，増加傾向にある苦情や相談等に対応し，消費者意識の向上を図っています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		市民生活の安定及び向上を目指します。

2 主要事業の概要

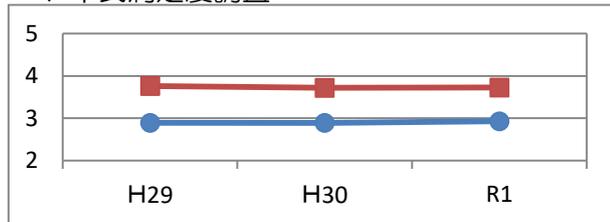
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消費者保護育成事業【コミュニティ推進課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
相談件数	消費者トラブル等相談	件	397 (H28)	300	455
出前講座	消費生活に関する出前講座	回	1 (H28)	7	4
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件数	件	338 (H28)	280	419

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.89	3.76
平成30年度調査	2.89	3.72
令和元年度調査	2.93	3.73

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	04省エネの推進・新エネルギー導入促進
具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施，公共施設における自然エネルギーの有効活用

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		環境に配慮した新庁舎は，太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギーを活用し，消費電力の低減を図っています。 一方省エネルギーの推進では，市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから，現状の取組体制には一定の効果が認められます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。

2 主要事業の概要

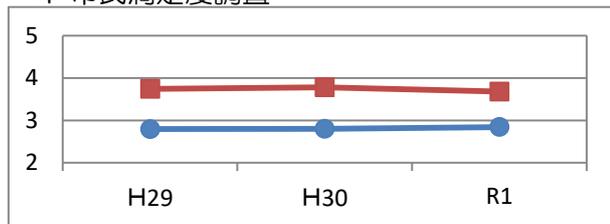
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
環境保全対策経費【生活環境課】	地球環境問題を考える機会を増やすために，広報やホームページ等による啓発と学校等への情報提供を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
市の施設のエネルギー使用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量を5年で5%以上削減（原油換算）	kl	3,187 (H28)	3,028	2,995 (H30)
市の施設における新エネルギーの導入件数	市の施設における新エネルギーの導入件数	件	1 (H29)	2	2
意識啓発活動	省エネルギーキャンペーン等の実施回数	件	2 (H28)	2	2

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.79	3.74
平成30年度調査	2.80	3.78
令和元年度調査	2.84	3.68

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	05上水道の整備
具体的取り組み例	老朽化した配水管の更新，対応年数を経過している施設の更新や整備。

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		水道事業ビジョン，水道事業経営戦略に基づき事業計画を進めています。漏水修理においては，本管（φ75以上）の大きな口径の漏水が増加傾向にあります。しかし，本年度は長期間漏水していたと思われる箇所の修理を行えた為，有収率が2.77%増の78.45%になりました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 漏水箇所の頻繁な配水管，送水管，対応年数が経過している機械，電気設備を更新してまいります。

2 主要事業の概要

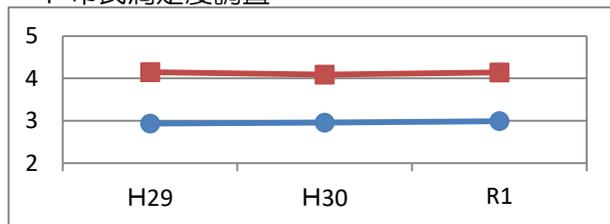
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
水道事業会計全般【水道課】	平成30年度において，石岡市水道事業中長期基本計画，水道事業ビジョン，水道事業経営戦略を策定しております。今後は，本計画に基づき事業の運営を進めて参ります。
特別会計繰出金【水道課】	今後も地方公営企業繰出金について（総務省自治財政局長通知）に基づき，繰出すことにより，上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
有収率	有収水量÷配水量	%	75 (H28)	85	78.45

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.93	4.15
平成30年度調査	2.96	4.09
令和元年度調査	2.99	4.14

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	06循環型社会の構築
具体的取り組み例	ごみ減量化・八郷地区の市指定ごみ袋使用義務化・3R推進，環境監視員パトロール，ごみ処理施設の広域整備

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		環境監視員の活動等により，不法投棄の早期発見につながっています。八郷地区の市指定ごみ袋使用の定着に向けて啓発をしていきます。1人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について，周知方法や取り組みを検討していきます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		ごみ処理施設稼働により，ごみの分別が変更となる為，より一層の分別意識の啓発等を進めていきます。

2 主要事業の概要

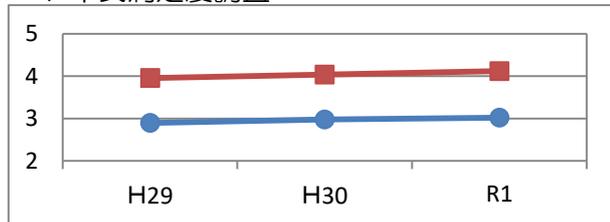
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ごみ減量・資源化推進事業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには，新規の登録団体や実施回数を増やすとともに，広報紙・HP等による周知が必要です。
清掃一般事務費【生活環境課】	生活環境に支障が生じないように，一般廃棄物（ごみ・し尿）を適正に処理する必要があり，ごみ処理施設については，施設の老朽化に伴い，新ごみ処理施設の建設を進めています。
塵芥処理経費【生活環境課】	一般家庭から排出されるごみについては，市町村が収集・運搬・処分を行うことが法律で定められており，分別収集の徹底，市民意識の高揚を図ることで，ごみの減量化と資源の有効活用に結びつきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
資源化率	年間に排出されるごみ量に占める資源ごみの割合	%	17.56 (H28)	24.6	18.01
1人当たりの年間ごみ排出量	1人当たりの年間ごみ排出量	kg	348 (H28)	315	354
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kl	1,819 (H28)	914	1,472

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.89	3.95
平成30年度調査	2.98	4.04
令和元年度調査	3.02	4.12

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	07環境保全の推進
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動，森林の間伐・整備による里山の保全

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		<p>河川水質等の分析，公害等の各種調査・分析を行っており，現状の検査結果等で異常値はなく，環境保全の各種取組には一定の効果が認められます。</p> <p>身近なみどり整備推進事業では，計画策定時に早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森林は現状をみながら進めざるを得ない状況です。</p>
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		<p>水質浄化啓発と共に生活排水を処理できる環境を整える必要があります。荒廃した森林の間伐や県森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。</p>

2 主要事業の概要

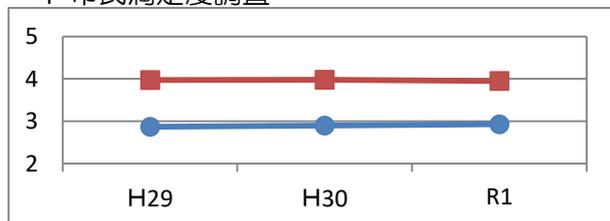
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
霞ヶ浦浄化対策経費【生活環境課】	合併浄化槽補助金の交付や水質浄化の啓発等により霞ヶ浦の水質浄化が図れています。協働で行う清掃事業を今後もより地域に浸透させていきます。
霞ヶ浦浄化対策経費【下水道課】	国，県に補助制度の見直し，拡大を要望し，本事業の推進に努めます。
公害対策経費【生活環境課】	問題発生時から一定年数が経過した箇所については，今後の検査体制等を地元と協議していく必要があります。また，近年増加している不法投棄や不法残土に対応するため，クライシス監理官の活用強化等を図っていく必要があります。
身近なみどり整備推進事業【農政課】	荒れてしまった身近な森林を整備することで，安心安全な生活環境づくりに貢献していきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
河川のBODの値	恋瀬川におけるBODの値	mg/l	1.7 (H27)	1.7	1.2
食用廃油回収量	食用廃油回収量	リットル	1,750 (H28)	2,000	2,400
里山整備箇所数	里山事業を取り入れた整備を実施する箇所数	箇所	0 (H28)	2	6
水洗化普及率 (合併処理浄化槽)	水洗化済人口/処理区域人口	%	23.2 (H28)	25	25.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.87	3.97
平成30年度調査	2.90	3.98
令和元年度調査	2.93	3.95

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	08協働によるまちづくりの推進
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進，まちづくりについての情報発信

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		石岡市協働のまちづくり条例に基づき，市民の行政参加や協働に継続的に取り組んでおり，一定の成果を上げているといえます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

2 主要事業の概要

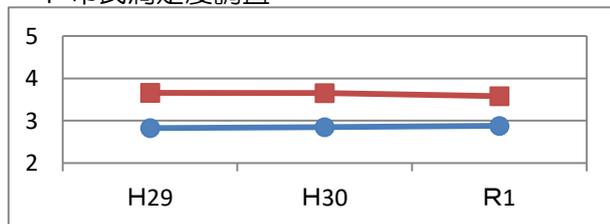
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
協働まちづくり推進事業【コミュニティ推進課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により，現在市民と協働し，行われている事業を分析し，その事業の発展向上を目指します。
コミュニティ・新生活運動事業【コミュニティ推進課】	今後も引き続きコミュニティ活動の推進を図っていきます。
区長・協力員関係経費【コミュニティ推進課】	地域の自主的な活動を支え，かつ，行政だけでは実現が困難な部分を把握し，区長協力員の役割に関する検討について，継続して取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報誌・HPへの掲載事例数	事例	3	10	5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.83	3.66
平成30年度調査	2.85	3.65
令和元年度調査	2.88	3.58